

平成 31 年 3 月 12 日
船工 30 第 677 号

報道関係各位

一般社団法人 日本船用工業会

マレーシア、タイ、フィリピンの船主協会と協力協定 (MOU) を締結
— 各国船主協会との関係強化と定期的な交流を促進 —

当会は 2019 年 2 月下旬から 3 月上旬にかけて、マレーシア、タイ、フィリピンの船主協会との協力協定 (MOU) を締結した。

今回の MOU 締結の背景としては、東南アジア諸国は経済発展に伴う物流の拡大やインフラ整備により海運・造船産業の発展が期待できることから、会員企業が今後の有望市場として注視していることが挙げられる。そのため、当会では、ユーザである各国の船主に対し、我が国船用工業の最新製品や技術を紹介するため船用工業セミナーを年 3~4 回程度東南アジア各国で実施し、我が国船用工業の PR をするとともに各国船主協会との意見交換を通じユーザ団体との交流と関係強化を図っている。

また、2018 年 4 月に東京で開催された Sea Japan 2018 での東南アジア海事サミットでは、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、シンガポールの船主協会会長等を招待し、国土交通省及び当会による東南アジアにおける課題や MOU 締結を含む今後の協力関係のあり方についてパネルディスカッションを行った。

上記のとおり、当会はすでに東南アジア各国船主協会とは友好的な関係を築いているが、今後も友好関係の発展と定期的な交流及び情報交換を促進するため、今般 MOU を締結することとなった。

今回締結した MOU の内容としては、①両国における海事産業の最新動向や技術情報に関する情報交換、②相互の会員企業間での交流促進、③情報交換や交流を行うための定期的な訪問を実施し、両団体における関係強化を図ることとしている。

MOU 締結式は 3 カ国で実施したが、まずは 2019 年 2 月 26 日にマレーシア船用工業セミナーの開催に併せ、マレーシア船主協会 (MASA) との MOU 締結式を行った。

締結式では、当会山田会長から「今回の MOU 締結が両国の関係強化の懸け橋となることを期待するとともに、今後は関係強化と交流の促進を図っていきたい。」との挨拶があった。その後、マレーシア船主協会の DATO IR ABDOL HAK BIN MD, AMIN 会長からは「本日は 2 度目となる船用工業セミナーであったが、日本のメーカーの情報提供はマレーシア船主にとっても非常に良い機会である。現在マレーシア船主にとっては排ガス対策やバラスト水処理問題などの環境問題への対応が大きな課題であり、日本の船用メーカーによる情報や技術提供により課題の解決とマレーシア海運業の発展のために、今後も協力及び貢献してほしい。」との挨拶があった。

締結式では、MOU 調印に加え、記念品の交換が両会長により行われた。締結式にはマレーシア船用工業セミナーに参加した約 100 名のマレーシア及び日本の関係者の参加があった。

続いて、2019 年 2 月 28 日にはタイ船主協会（TSA）と MOU 締結を行った。

締結式では、当会山田会長から「当会及び我が国船用メーカはタイ船主等ユーザに最新の技術や情報の提供を積極的に行っていきたい。」との挨拶があった。続いて、タイ船主協会の Bhumindr Harinsuit 会長からは「現在タイで運航されている多くの船舶は日本からの中古船であり、日本の船舶や船用機器には長年親しみがある。国際的な環境規制などが強化されている状況において、タイで運航されている船舶も環境対応などを図る必要があり、そのためには、日本の船用メーカの協力が不可欠である。今後も引き続き友好関係を保ち交流を図っていきたい。」との挨拶があった。

なお、締結式にはタイ船主協会 5 名、当会 7 名他の出席があった。

翌週の 2019 年 3 月 6 日にはフィリピン外航船主協会(FSA)、フィリピン内航船主協会(PISA)及びフィリピン石油輸送協会(PHILPESTA)と当会との 4 者による MOU 締結を行った。

締結式では、山田会長から「フィリピンでは 2 度セミナーを開催し、我が国船用工業の PR を行ってきたが、今後も環境技術や IoT 関連技術などについて積極的に情報提供を行い、フィリピン海事産業の発展に貢献したい。」との挨拶があった。続いてフィリピン外航船主協会の Dario “Roy” Alampay, Jr. 会長から「今回の MOU 締結は最適なタイミングである。現在フィリピンでは海上輸送の近代化を図っているところであり、一般貨物船やフェリーなどの性能や安全性の向上を図るため船隊の更新を進めていきたいと考えている。日本の船用機器の性能やアフターサービスの良さについては理解しているところであり、今後も情報提供や技術供与などにより日本の船用メーカがフィリピン海事産業に貢献してくれることを期待する。」との挨拶があった。

なお、締結式にはフィリピン側 21 名、当会 9 名他の出席があった。

当会では、今回 MOU を締結した 3 カ国の船主協会への我が国船用工業の最新技術や製品の情報提供や交流などを年に一回程度行い、船主協会との関係維持・強化を図ることとしている。

また、当会・グローバル戦略検討委員会及び海外市場開拓検討委員会において、東南アジアをはじめとする各国の船主や造船所等ユーザとの連携強化を図るため、MOU 締結先の拡大を検討・実施することとしている。

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本船用工業会 業務部 友松 慎悟
TEL:03-3502-2041 E-mail:tomomatu@jsmea.or.jp

2019年2月26日 マレーシア船主協会とのMOU締結式



右：Malaysia Ship owner' s Association (MASA)
DATO IR ABDOL HAK BIN MD, AMIN (Chairman)

左：Japan Ship Machinery & Equipment Association (JSMEA)
Mr. Shinzo Yamada (Chairman)



2019年2月28日 タイ船主協会とのMOU締結式



左：Thai Shipowners' Association (TSA)

Mr. Bhumindr Harinsuit (Chairman)

右：Japan Ship Machinery & Equipment Association (JSMEA)

Mr. Shinzo Yamada (Chairman)



2019年3月6日 フィリピン外航船主協会(FSA)、フィリピン内航船主協会(PISA)及びフィリピン石油輸送協会(PhilPESTA)とのMOU締結式



左から

- Philippine Interisland Shipping Association (PISA)
Mr. Christopher S. Pastrana (Chairman & President)
- Japan Ship Machinery & Equipment Association (JSMEA)
Mr. Shinzo Yamada (Chairman)
- Filipino Shipowners Association (FSA)
Mr. Dario R. Alampay (Chairman & President)
- Philippine Petroleum Sea Transport Association (PhilPESTA)
Mr. Andronico E. Santos (Chairman and President)

